長　坂　玄海に 波音高く

平戸市立生月中学校
学校だより　第 6 号
（令和5年　6月）
文責　堀江　泰賢

【生徒信条】『今日よりは　幼心を打ち捨てて　人となりにし　道を踏めかし』

最優秀賞「 言葉に 想いを 」　～ 第１８回 平戸市「少年の主張」大会が開催されました ～

6月１１日（日）、令和5年度第１８回平戸市「少年の主張」大会が、平戸文化センター大ホールで開催されました。中学校の部では、市内８校から代表者が参加しましたが、本校からは3年生の白石真央さんが出場し、『言葉に想いを』という表題で、小さい頃から取り組んでいる書道の経験を踏まえ、言葉に想いを乗せ、愛を込めることの大切さを発表してくれました。聴衆に訴えかける堂々とした発表で、とても立派だったと思います。

審査の結果、見事、最優秀賞を獲得し、８月に行われる県大会に平戸市代表として出場することになりました。この経験は、本人にとって大きな財産になることと思います。お疲れ様でした。そして、おめでとう！

「花から学ぶことは　いいことばかり」　～ 学級園・長坂花壇の整備が進んでいます ～

今年も、環境委員会の活動の一環として、井元麻琴委員長を中心に、学級園や長坂花壇などに花苗が植えられました。正面玄関近くの学級園には、市の「花いっぱい運動」でいただいた花苗を、学年ごとに植えました。また、長坂の花壇には、ヒマワリの種を直接まいたり、種から育てたヒマワリの苗が植えられたりして、見事なヒマワリ畑が完成しています。さらには、昨年秋に咲いたコスモスのこぼれ種から芽生えたコスモス苗も成長しています。（今年も、ヒマワリの花が咲き終わった後に、新たにコスモスの種まきをする予定です。）

何かと忙しい学校生活の合間を利用して、一生懸命、係活動として花壇づくりに取り組んだり、毎朝、水やりをしたりする生徒の姿が見られます。また、今年度は、環境委員以外の生徒にも、種まきや花苗づくりのボランティアとして協力を呼び掛けたところ、毎回、本当にたくさんの子ども達が参加してくれています。

花壇の草花の成長とともに、子ども達の豊かな心も成長していることを感じます。皆さんありがとう。

『 花を見ていると　素直になれる　花を見ていると　謙虚になれる　花から学ぶことは　いいことばかり 』

ボランティア募集！！　～ 7.15（土）「七夕フェスティバル」運営スタッフ募集 ～

毎年恒例の公民館主催、読み聞かせの会「紙風船」共催の『七夕フェスティバル ～親と子の集い～ 』が、７月１５日（土）に開催されます。例年どおり、本校生徒に対して、運営のボランティア協力依頼があっています。昨年度、このイベントに１２名の生徒が、冬のキラキラフェスティバルには２４名の応募がありました。また、１１月の勇魚祭りには生徒会役員を中心に７名のボランティアがありました。すごいです！

本校では、「出番・役割・承認」をキーワードに、授業や学校行事だけでなく、様々な場面で、多くの生徒が出番や役割を果たす機会を多く作り、その活躍や頑張りを承認（ほめる）するという「開発的生徒指導」を推進することで、「自ら考え、正しく判断し、進んで行動する生徒」の育成を目指しています。

さあ、次はあなたの番です。自分の新たな可能性を広げよう！　そして、先輩たちの活躍に続け！！

（　現在、参加者を募っています。チャレンジしようと思う生徒は、担任または中村先生へ申し出てください。）